

はじめに

世界のグローバル化が進む中、福島県においても、外国人登録者数が1万2千人（平成13年末現在）を超え、様々な文化背景を持った人々が多く一緒に暮らすようになってきています。そのため、異なる文化を理解し、共に暮らす地域社会づくりの重要性が叫ばれ、学校現場や公民館でも、国際理解学習（講座）が数多く開催されています。現在、それらの多くは言語によるコミュニケーションを重視した「外国語学習」や、外国人講師による「異文化紹介」、外国の生活などを調べる「国調べ学習」、イベント的な「外国人との交流会」として行われています。

当協会では、これらの従来の枠組みに加え、一個人は地球の一員であり、一地域は地球の一地域であるという認識のもと、平和、環境、開発、人権といった世界の課題を理解し、その解決に向けた実践を日々の生活の中で行っていこうという『地球市民意識』を高めることができる国際理解学習を推進したいと考えていました。

そこで、このような国際理解学習に役立ててもらえればと、教育関係者、NGO（民間非営利国際交流団体）、そして当協会の13名の委員からなる『i委員会（国際理解に役立つ学習プラン冊子づくり委員会）』を組織し、冊子作成のための作業を進めることとしました。

昨年5月から会合を重ね、またEメールのやりとりを繰り返し、精力的に冊子の編集を行い、この度、冊子を完成することができました。ここにあらためて長期にわたって熱心に編集に携わっていただいたi委員会の皆さんに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この編集作業の最中、アメリカのニューヨークで痛ましいテロ事件が起きました。この事件を通して、多くの方が価値観の違う人々が共存することの難しさと紛争の平和的解決の大切さ、そして国際理解学習の必要性について痛感したはずで

この冊子が、国際理解学習をすすめる指導者の手引きとしてはもちろん、様々な教育の場面で活用していただければ、喜びにたえません。

平成14年3月

財団法人福島県国際交流協会

（本冊子は、当協会ホームページ（<http://www.worldvillage.org/>）からもダウンロードして取り出すことができますので、ご活用下さい。）